

人形 花子さん(二)

及 川 ふ み

曆の春はまゐりましたが、お寒さはこれからで御座いませう。幼稚園で、幼児が遊ぶのにも、自然に室内遊びが多くなることで御座います。南向きの窓下にこしらへた疊一帖大の、常設おまごご場、三尺の茶棚に、豆ちやぶ臺の繁昌する季節で御座います。

女兒のもつともよろこんで、日毎くにくりかへされるおまごご遊びの、中心人物、花子さんをつくつて見ませう。

花子さんのつくり方も工夫すればいろく出来ませうが、先づ最初は紙でこしらへるごく簡単なものをつくりませう。

別圖の様に、畫用紙の八ツ切を斜にして、紙一ぱいに大きなものをつくりませう(別圖をそのまゝおつかひ下さいませ)。前向、後向の二枚を謄寫して用意致しておきます。最初

に前向の分だけ、周圍の線に沿うてきりぬき、ボール紙にはりつけます(ボール紙は出来るだけ厚いのが使用する時に、しつかりしてよいのですが、幼児がまわりをきりぬくの骨がおれますから、切れる範圍で出来るだけ厚いのがよろしう御座いませう。よくかはきましたなら、その周圍を切りおこします。

後向を又別にきりぬいて、さきの前むきのものゝ、後へはりつけます。

糊で三枚はり合せましたのを、紙がそりかへらない様に、重い本なごの下へしいておきます。

着物

花子さんのからだに合せて、適當に和服、洋服なきつくられますが、一つ二つ着物の型も御參考までに本誌にかゝりますが誌面の都合上來月號にいたします。



